

三浦新七 みづら じんいち 文明史學者、法學博士。明治十年八月十一日山形縣
生れ、昭和二十一年八月十四日歿（八七—一九四七）。明治三十四年東京
高等商業學校専攻部卒。その後十年間ドイツ留學、リンブレトの下
で歴史學を學ぶ。歸朝後東京高商教授、大正九年東京商科大學教授と
昭和四年家業の兩羽銀行頭取に轉任した他、諸會社の重役、山形商工
會議所會頭を務め、七年貴族院議員、十一年東京商大學長、また日本
銀行顧問、金融制度調査會委員等歴任。

著書に、『東洋文化と西洋文化』（他二名合著）、『華學會談會編』、
昭和二十一年一月十五日研究社）、『東亞文明史論考（國民性の研究）』
（昭和二十五年五月九日岩波書店）等。